

# 羽生水郷公園整備の進捗状況 及び周辺の環境整備について

奥沢 和明議員

・質問 平成十六年九月議会において、市長は市議会議員として羽生水郷公園の早急な整備と周囲に桜のトンネルをつくることについて質問しているが、羽生水郷公園整備の現在の進捗状況について伺いたい。

コスモスフェスティバルなど周辺の環境を整備し、一体的な観光スポットにすることが重要と考えるが、見解を伺いたい。  
・答弁(都市整備部長・経済環境部長)  
羽生水郷公園は、昭和五十六年に約七・五ヘクタールの

面積で開設され、平成六年に公園区域を拡大し現在、五十三・六ヘクタールの計画で県が整備を進めているところである。

平成十八年度末までに、十八・五ヘクタールが供用開始され、全体の三十四・五％の整備率になっている。

本年度は、南側駐車場の舗装工事とわんぱく広場の造成及び園路整備を予定しており、二十年度は、南側駐車場のトイレ、照明灯、植栽及びわんぱく広場の園路、広場、植



羽生水郷公園

栽などの整備を進めていく予定であるとのことである。  
次に、桜のトンネルの整備については、地域住民の要望もあることから、今後、県が

具体的な整備計画を策定していくなかで要望、協議していきたい。  
また、農林公園など周辺の環境整備については、集客増対策や景観形成事業の展開、農業体験事業の拡大など周辺エリアが一体となった観光スポットの形成に努力していきたい。

・その他の質問  
三田ヶ谷農林公園に隣接する農村センターの改修整備について

# 自主財源確保の取り組み について

蜂須 直巳議員

・質問 近年、多くの自治体が自主財源確保の一環として、有料広告による収入を得ている状況にある。

本市においても、広報「はにゆう」やホームページに有料広告が掲載されているが、多くの自治体で取り組んでいる行政用封筒への広告掲載、

また、福祉バスや市営駐車場など広告媒体として利用できるものは利用し、自主財源確保に努力すべきと考えるが、見解を伺いたい。  
・答弁(企画財政部長)  
本市では、平成十五年から広報「はにゆう」に、十六年から羽生駅自由通路に、十七

年から市ホームページに、十九年から庁舎正面玄関マットに、それぞれ広告を掲載しており、一年間の広告収入は、広報「はにゆう」が百四十七万円、羽生駅自由通路が七十九万円、市ホームページが四十一万円、庁舎の玄関マットが十九万円という金額になっている。

特に、羽生駅自由通路については、広告掲載の希望も多いことから今後広告スペースの増設を図っていききたいと考えている。

そして、本年六月、さらなる財源確保を図るべく、CM入り封筒作成検討プロジェクトを立ち上げ、封筒への広告掲載導入について検討を進めているところであり、本年十月には、報告書をまとめる予定になっている。

また、各市で公用車や公共施設、市営駐車場、図書の出賃などさまざまな行政財産を広告媒体として活用している実績があることから、封筒以外の財源確保対策についても今後調査・研究していきたい。

い。  
さらに現在、職員の提案に関する要綱に基づき、新たな自主財源確保のためのアイデアを職員から募集しているところであり、これらも参考にしなが、自主財源確保に向けた取り組みを続けていきたい。

・その他の質問  
河田市政一年の検証と今後について  
・コムスン問題の対応について